

公共政策学連携研究部の岩谷 将教授が アジア・太平洋賞大賞を受賞

【賞の概要】

アジア調査会の創立 25 周年を記念して 1989 年（平成元年）に創設された賞で、毎日新聞社とアジア調査会が共催し、アジア・太平洋の政治、経済、外交、社会、文化などについて優れた著書を発表した研究者や実践者に贈られます。

【受賞内容】

受賞作 『盧溝橋事件から日中戦争へ』（東京大学出版会）
受賞者 岩谷 将（北海道大学大学院公共政策学連携研究部 教授）
授賞式 令和 6 年 11 月 14 日（木）

【受賞理由】

盧溝橋事件がなぜ日中全面戦争につながったかを、1937 年 7 月 7 日の発生から 1938 年 1 月 16 日の第一次近衛声明に至る半年に集中して記述した大作で、膨大な文献にもとづく丹念な実証と今後の日中関係に与える示唆の大きさが評価され選出されました。 ※毎日新聞 11 月 14 日 16 面より

お問い合わせ先

北海道大学大学院公共政策学連携研究部 教授 岩谷 将（いわたにのぶ）
TEL 011-706-3132 メール iwatani@juris.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）
TEL 011-706-2610 FAX 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp